

研究実施のお知らせ

2024 年 10 月 21 日 ver.1.1

研究課題名

尿中活性型 IL-18 濃度と腎機能の関係

研究の対象となる方

2018 年 6 月から 2021 年 10 月の間に島根大学医学部附属病院で以下のいずれかに診断された方のうち、過去に検体の保存に同意（内分泌代謝疾患克服の研究基盤としてバイオリソースバンクの構築）をいただいた方。

2 型糖尿病、1 型糖尿病、肥満症、原発性副甲状腺機能亢進症、慢性腎臓病

研究の目的・意義

保存させていただいている検体（血液・尿）において、血液中・尿中の「活性型 IL-18」という、腎臓がダメージを受けた際に漏れ出てくると考えられるたんぱく質を測定させていただきます。

もともと腎臓の機能が低下してきていた方でこのたんぱく質が高い値にならないか、あるいは測定時から 2 年間にわたり腎機能の低下度合いが大きくないかについて調べます。このことで、IL-18 を測定することが、腎臓の機能を予想するために有用かどうかを検討します。

研究の方法

以前保存をさせていただいている血液および尿を用いて、「活性型 IL-18」を測定します。また、保存をさせていただいた際の、体の状態や疾病に関わる情報として以下の項目について情報を収集させていただきます。

項目：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、HbA1c、空腹時血糖、空腹時 C ペプチド、空腹時インスリン濃度、Alb、Ca、P、Intact PTH、BUN、Cr、eGFR、一般尿検査、肥満症に伴う健康障害の有無(高血圧症、脂質異常症、変形性関節炎、睡眠時無呼吸症候群など)

解析を行うため、活性型 IL-18 が高めか低めかで 2 つのグループに分けさせていただき、血中あるいは尿中の IL-18 濃度が高い方で、腎機能が低下する速度が速いか否かについて検討を行います。

個人情報 は島根大学医学部内科学講座内科学第一の部屋に鍵をつけて保存します。

研究の期間

2024 年 11 月（研究許可後）～2026 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学学講座内科学第一 野津 雅和

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 12 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650